

「あなたは、どう思いますか？」 [R6年度版] 月 / 日		/	/	/	/	/
学習環境 生活環境	1	学年や性別によって得意またはふさわしい学級係，児童生徒会委員会，役割等がある。				
	2	忘れ物，学習の到達度や点数等，進路状況等について，児童生徒の個人がわかるように掲示することで，児童生徒の行動や学習を促す。				
	3	名前のシールは，男子は青，女子は赤にしている。				
	4	着替えは，女子のみ更衣室を使用することにしている。				
	5	担任はクラス全体を見るので，障害のある児童生徒の指導はサポートの職員に任せている。				
	6	授業中落ち着きがない児童生徒を，他の部屋に誘導している。				
	7	障害のある児童生徒は席替えのクジは引かせず，いつも教師の席の近くにしてている。				
生徒指導	8	児童生徒に要求しながら「先生は別」と児童生徒に言うことがある。				
	9	児童生徒の前では，腕を組んでいることが多い。				
	10	「休み時間は，外に出て遊びなさい」と強く指導している。				
	11	児童生徒の話が終わらないうちに，自分の意見を言うことがある。				
	12	あいさつは，児童生徒から先にするよう，指導している。				
	13	児童生徒と話するとき，「お前」「お前たち」と言うことがある。				
	14	丁寧な口調であれば，児童生徒の名前を呼び捨てにしても良いと思う。				
	15	「〇丁目の児童生徒は，だらしのないことが多い」と思ったことがある。				
	16	児童生徒から出された学校のルールや行事運営に関する案を，児童生徒の承認なく，職員会議で通りやすいように調整してから提案する。				
	17	日本語や日本文化を十分解さない児童生徒が，授業を十分理解できない場面が出てくるのは仕方がない。				
進路指導	18	いじめや虐待を疑われる事案等，児童生徒が他者からの被害を訴えてきた際，事案を認知した教員による当該児童生徒への声掛けやアドバイスに留めることがある。				
	19	性的少数者と見られる児童生徒について積極的に声掛けを行い，学校生活での困り感について職員全体で共有して対応する。				
	20	「レベルの高い学校」「いい職業」という言い方をすることがある。				
給食指導	21	「成績や調査票に影響する」と言って，児童生徒の行動を誘導することがある。				
	22	進路に関する指導場面では，児童生徒の希望よりも学力や学校生活の状況を中心に話をする。				
清掃指導	23	児童生徒が担任の配膳をするよう，指導している。				
	24	忙しい時は，教職員は清掃をしなくても良いと思う。				
学習指導	25	職員室の清掃も，児童生徒がすることになっている。				
	26	授業開始時には，「お願いします」と児童生徒に挨拶をさせている。				
	27	授業の開始が遅れたり，終わりの時間が延びたりすることがある。				
	28	宿題や授業内の学習課題等がやり終えていない児童生徒について，やり終えるまで休み時間にやらせるようにしている。				
部活動	29	「こんな問題ができなければ，〇年生にもどりなさい」や「特別支援学級に行きなさい」と言うことがある。				
	30	ミスに対して，他の児童生徒に聞こえるように，叱責することがある。				
	31	部活動の月毎の活動予定を知らせないで活動することがある。				
係活動	32	勝利や受賞を至上価値とした指導や，児童生徒の起用を行う。				
	33	児童生徒が教職員の手伝いをするのは当たり前だと思う。				
職場環境・ 児童生徒対応	34	「学級委員なのに・・・」と叱ることがある。				
	35	毎日，日記を提出することを求めながら，検印のみで済ますことがある。				
	36	児童生徒から声をかけられたり質問をされたときに，作業をしながら応えることがある。				
	37	自分のことを「先生」と言うことがある。				
	38	職員間の先輩後輩の人間関係を，職員間の呼び方や役割分担等，児童生徒に見えるかたちで持ち出すことがある。				
	39	障害のある児童生徒には，説明しても理解できないし意思表示もしないので，本人に意見は聞かない。				

◎ここに例示されたものは，見方や立場を変えることで見えてくる問題もあります。
自分の教育活動を人権尊重という視点で振り返るための点検表として活用しましょう。